

Tips: コンテンツを WebCT にアップロードする

Copyright © EMIT Japan Corporation

WebCT のファイル管理機能

WebCT で利用したいコンテンツ（HTML ファイルやテキスト、画像や動画など）が手元に用意されている場合は WebCT サーバにアップロードすることによって利用できます。この Tips では WebCT の「ファイル管理」機能を利用してこれらのファイルをアップロードする方法を説明します。この方法以外に WebDAV という機能を利用してファイルをアップロードする方法もあります。¹

この Tips は以下の内容を含んでいます。

- 1つのファイルをアップロードする
- 複数のファイルをアップロードする
- 注意事項

「ファイル管理」概要

WebCT ではコースで利用するファイルを WebCT サーバ上に置かねばなりません。コースで利用することができるファイルは、「ファイル管理」で確認することができます。また、利用するファイルに対してさまざまな操作を行うことができます。

「ファイル管理」には、「My-Files」、「WebCT-Files」というフォルダが表示されています。（図1参照）それぞれのフォルダの特徴は以下のとおりです。

* 「My-Files」:

...デザイナーがコースに関連するファイルの格納、作成、操作を行うことのできるフォルダです。

* 「WebCT-Files」:

...デフォルトでパッケージされているクリップアート、バナー、その他の画像ファイルが格納されています。
このフォルダ内のファイルを変更することはできませんが、コース内で使用することはできます。

デザイナーが操作することができるフォルダは、「My-Files」以下のファイル/フォルダです。



図 1: ファイル管理画面

WebCT で利用できるファイル名には制限があります。文末の「注意事項」を参照してください。

1つのファイルをアップロードする

ファイル管理画面上部のオプションメニューを利用して操作します。ファイル管理からのファイルのアップロードは、1つずつのファイルに対してのみ行うことができます。複数のファイルをアップロードする場合は、「複数のファイルをアップロードする」を参照してください。

手順

- ナビゲーションバーにある「デザイナー用メニュー」の下で「ファイル管理」をクリックします。
- ファイル管理画面が表示されます。「ファイルオプション」の下で、「ファイルをアップロード」を選択し Go をクリックします。
- アップロード画面が表示されます。必要事項を選択します。
 - ファイル名...
ファイル名の隣にある 参照...² をクリックしてアップロードするファイルを選択します。

¹ 別 Tips 「WebDAV を用いてファイルをアップロードする」を参照してください。

² ブラウザ、OS によってこの文字が異なる場合があります。

➤ 保存フォルダ...

ファイルのアップロードするフォルダを選択します。フォルダを作成していない場合は、「My-Files」のみです。³

- 最後に**アップロード**をクリックします。
- 再び、**ファイル管理**画面が表示されます。3.で指定した先にファイルがアップロードされていることを確認します。

これで、アップロードしたファイルはコース内で利用可能となります。

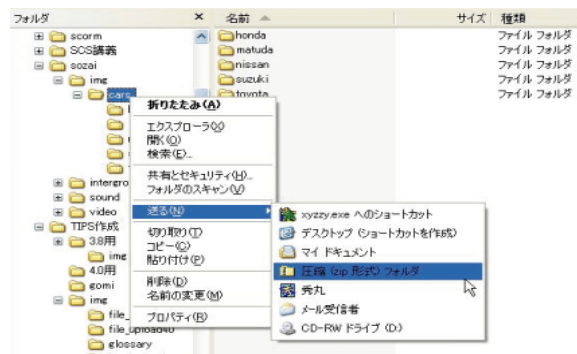


図 2 : WindowsXP のエクスプローラ画面

複数のファイルをアップロードする

複数のファイルをアップロードするには、手元の PC でファイルやフォルダ群を Zip 形式に圧縮して WebCT サーバにアップロードした上で Unzip すると利用することができます。

手順

- 手元の PC でファイルやフォルダ群を Zip 形式に圧縮
- WebCT に Zip ファイルをアップロード
- アップロードしたファイルを Unzip

1 . Zip 形式に圧縮

2つの方法があげられます。ご自分の便利な方法で必要なファイルを Zip 形式に圧縮してください。

- ファイル圧縮プログラムを利用する
- OS の標準機能を利用する

OS の標準機能を利用する (詳細)

WindowsXP では、OS の標準機能としてディレクトリごと Zip 形式にすることができます。WebCT にアップロードしたいファイルが 1つのフォルダにある場合は、この機能を利用すると便利です。

(手順)

- エクスプローラ上で、圧縮したいフォルダ名にマウスをもっていき、右クリックをします。
- 「送る」「圧縮(Zip形式)フォルダ」を選びます。指定したフォルダと同じディレクトリに Zip 形式に圧縮されたファイルが (<フォルダ名>.zip) という名前で作成されます。

2 . Zip ファイルのアップロード

- ナビゲーションバーの「デザイナー用メニュー」から「ファイル管理」をクリックします。
- ファイル管理**画面が表示されます。「ファイルオプション」の下で、「ファイルをアップロード」を選択し **Go** をクリックします。
- アップロード**画面が表示されます。必要事項を選択します。⁴アップロードするファイルは Zip 形式のもので。
- 最後に**アップロード**をクリックします。
- 再び、**ファイル管理**画面が表示されます。3.で指定した先にファイルがアップロードされていることを確認します。

3 . ファイルを Unzip する

- Unzip したい Zip ファイル名の前にあるチェックボックスをクリックし、選択します。
- 「ファイルオプション」の下でリストボックスから「Unzip」を選択し、右横の **Go** をクリックします。
- Unzip 画面が表示されるので、Zip ファイルをどのフォルダに解凍をするのか指定をします。
- 最後に Unzip をクリックします。

³ フォルダの作成方法については、別 Tips「ファイル管理を使う(フォルダ)」を参照してください。

⁴ 「1つのファイルをアップロードする」の手順3参照。

5. 再び、**ファイル管理**画面が表示されます。指定したフォルダに新しく Zip ファイル名のフォルダが作成されていることを確認します。また、その新しく作成されたフォルダをクリックして、圧縮したファイルが表示されるかを確認します。

これで複数のファイルをアップロードすることができました。その他の、ファイル管理については、ファイル管理関係の別 Tips を参照してください。

注意事項

➤ ファイル名の規則

利用できる文字...

a~z、A~Z、0~9、ハイフン(-)、アンダーバー(_)、ピリオド(.)

利用できない文字...

全角日本語、空白文字、タブ、改行文字、復帰文字、コロン(:)、チルダ(~)、開き大括弧([)、閉じ大括弧(])、エクスクラメーションマーク(!)、アットマーク(@)、シャープ(#)、ドル(\$)、パーセント(%)、ハット(^)、アンパサンド(&)、アスタリスク(*)、開き括弧(()、閉じ括弧())、プラス(+)、バッククォート(`)、開き中括弧({)、閉じ中括弧(})、パイプ(|)、円マーク(¥)、小なり(<)、大なり(>)、カンマ(,)、クエスチョン(?)、スラッシュ(/)、セミコロン(;)、シングルクォート(')、ダブルクォート(")

➤ フォルダ名の規則

利用できる文字...

a~z、A~Z、0~9、カンマ(,)、空白文字、アンダーバー(_)、アンパサンド(&)、開き括弧(()、閉じ括弧())、ダッシュ(-)、ピリオド(.)、チルダ(~)

先頭に利用できない文字...

ダッシュ(-)、チルダ(~)、空白文字

最後に利用できない文字...

ピリオド(.)、空白文字

この TIPS は以下の環境で確認しました。

サーバ : WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3

クライアント OS : WindowsXP

クライアントブラウザ : IE6.0SP1

(2003年10月27日 瀧 美渚子作成)